

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成29年9月】

■調査概要（データ対象期間：平成29年9月1日～9月30日）

- 調査期間：平成29年10月1日～10月20日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業21企業、製造業19企業、卸売業12企業、小売業31企業
飲食業20企業、サービス47企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計150企業>
- 調査項目：9月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

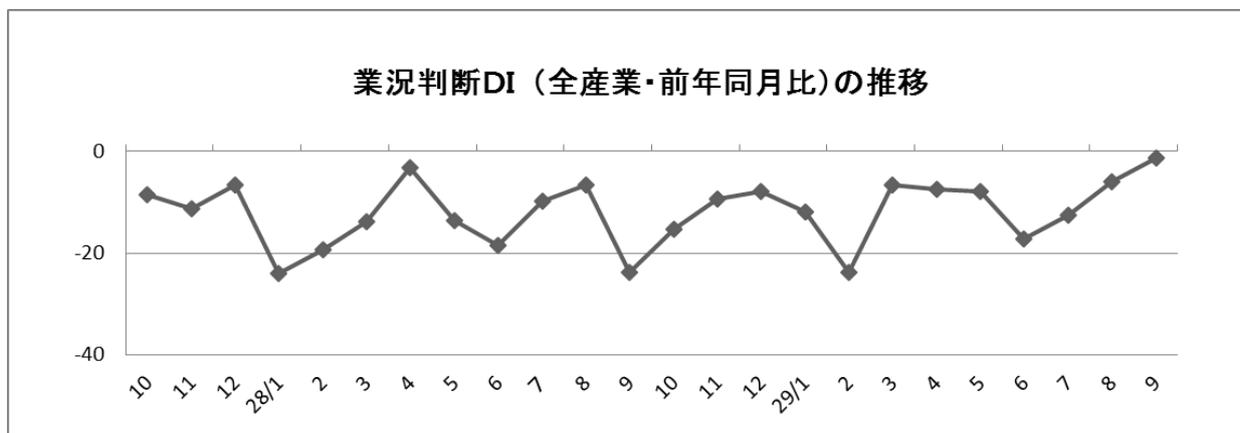
1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲6.0）よりマイナス幅が4.7ポイント縮小し、▲1.3となった。業種別では、製造業はプラス幅が拡大し、建設業はマイナスからプラスに転じた。サービス業はマイナス幅が縮小した。卸売業はプラス幅が縮小し、小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲15.9）よりマイナス幅が3.3ポイント縮小し、▲12.6となった。業種別では、建設業はマイナスから0になり、サービス業、製造業、飲食業はマイナス幅が縮小した。小売業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	16.7 (13.2)	65.3 (67.6)	18.0 (19.2)	↗ ▲1.3 (▲6.0)	12.7 (9.9)	62.0 (64.3)	25.3 (25.8)	↗ ▲12.6 (▲15.9)
建設業	19.0 (17.4)	71.5 (60.9)	9.5 (21.7)	↗ 9.5 (▲4.3)	14.3 (8.7)	71.4 (73.9)	14.3 (17.4)	↗ 0.0 (▲8.7)
製造業	31.6 (17.4)	52.6 (69.6)	15.8 (13.0)	↗ 15.8 (4.4)	21.1 (17.4)	47.3 (52.2)	31.6 (30.4)	↗ ▲10.5 (▲13.0)
卸売業	33.3 (26.7)	41.7 (66.6)	25.0 (6.7)	↘ 8.3 (20.0)	16.7 (20.0)	58.3 (53.3)	25.0 (26.7)	↘ ▲8.3 (▲6.7)
小売業	9.7 (12.1)	64.5 (63.7)	25.8 (24.2)	↘ ▲16.1 (▲12.1)	12.9 (9.1)	51.6 (60.6)	35.5 (30.3)	↘ ▲22.6 (▲21.2)
飲食業	10.0 (18.8)	70.0 (56.2)	20.0 (25.0)	↘ ▲10.0 (▲6.2)	5.0 (12.5)	80.0 (62.5)	15.0 (25.0)	↗ ▲10.0 (▲12.5)
サービス業	12.8 (2.4)	72.3 (78.1)	14.9 (19.5)	↗ ▲2.1 (▲17.1)	10.6 (2.4)	63.9 (73.2)	25.5 (24.4)	↗ ▲14.9 (▲22.0)

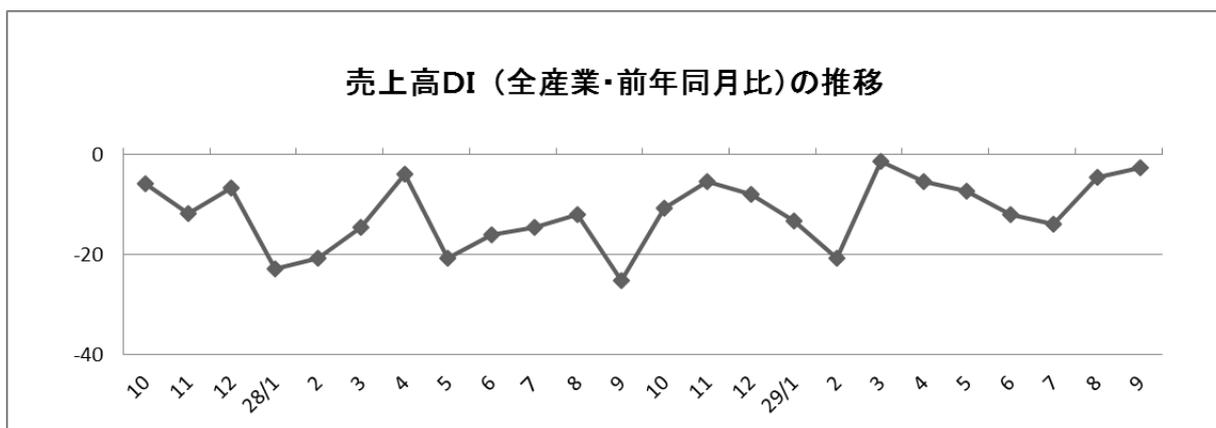
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲4.6）よりマイナス幅が1.9ポイント縮小し、▲2.7となった。業種別に見ると、建設業はプラス幅が拡大し、サービス業はマイナス幅が縮小した。製造業はプラス幅が縮小し、卸売業はプラスから0になった。飲食業は0からマイナスに転じ、小売業はマイナス幅が拡大した。

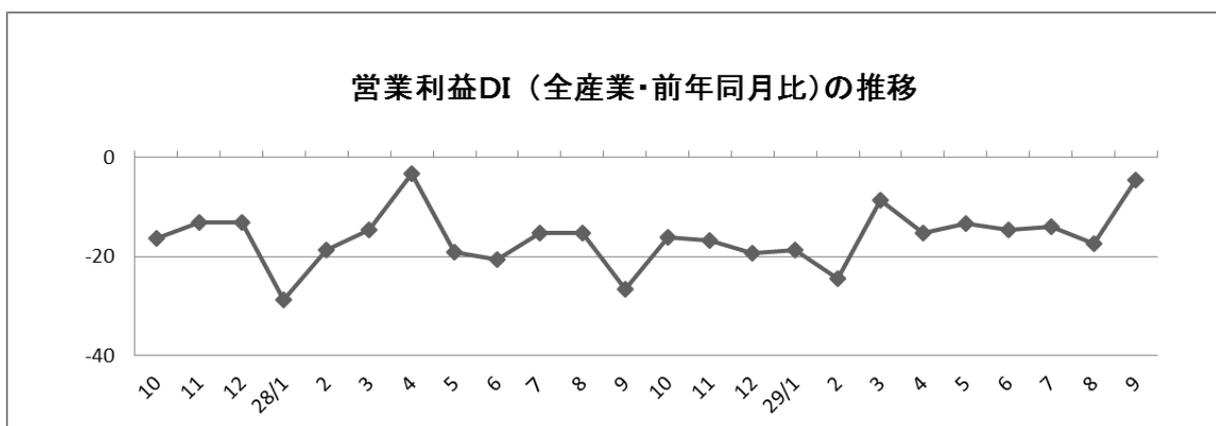


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 体	▲25.1	▲10.7	▲5.3	▲8.0	▲13.2	▲20.6	▲1.3	▲5.4	▲7.3	▲12.0	▲13.9	▲4.6	▲2.7
建設業	▲9.6	▲21.7	▲12.5	▲39.2	▲25.0	▲22.7	▲5.2	▲19.1	▲28.0	▲14.3	0.0	8.7	23.8
製造業	▲26.1	▲17.4	▲4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲9.1	0.0	▲31.8	8.7	5.2
卸売業	▲15.4	▲23.1	6.2	▲18.8	▲43.7	▲15.4	▲16.6	▲28.6	16.6	▲33.4	0.0	20.0	0.0
小売業	▲29.4	▲8.6	▲13.4	16.1	9.0	▲41.2	▲2.8	0.0	0.0	▲17.6	▲20.6	▲15.2	▲16.1
飲食業	▲43.7	▲18.8	▲28.6	▲13.3	▲33.4	▲35.3	▲16.7	▲14.3	▲11.8	▲26.6	▲44.4	0.0	▲15.0
サービス業	▲25.0	5.0	6.8	▲6.7	▲13.3	▲11.6	8.9	▲4.6	▲5.0	0.0	2.4	▲22.5	▲4.2

3. 営業利益DI（前年同月比）

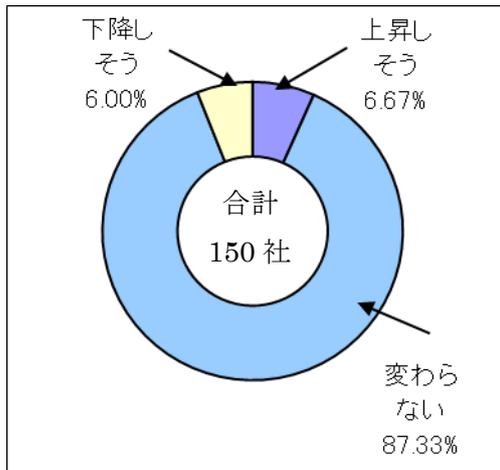
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲17.3）よりマイナス幅が12.7ポイント縮小し、▲4.6となった。業種別に見ると、建設業、製造業はマイナスからプラスに転じ、サービス業、飲食業、小売業はマイナス幅が縮小した。卸売業はプラスからマイナスに転じた。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

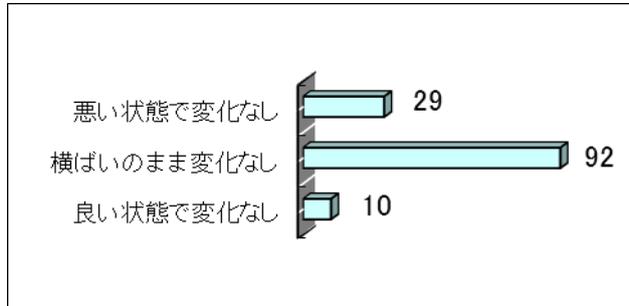
	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全 体	▲26.5	▲16.0	▲16.7	▲19.3	▲18.6	▲24.5	▲8.6	▲15.3	▲13.3	▲14.7	▲13.9	▲17.3	▲4.6
建設業	▲23.8	▲21.7	▲29.2	▲43.5	▲20.0	▲27.3	▲21.0	▲33.3	▲32.0	▲28.6	▲4.7	▲21.8	4.7
製造業	▲30.5	▲30.5	▲22.7	▲10.0	0.0	▲9.1	▲10.0	▲4.1	▲9.1	▲4.7	▲36.4	▲8.7	5.2
卸売業	▲23.1	▲7.7	▲6.2	▲25.0	▲37.5	▲30.8	▲8.3	▲14.3	8.3	▲20.0	▲6.6	13.4	▲16.7
小売業	▲29.4	▲14.3	▲23.3	0.0	▲9.1	▲35.3	▲2.8	▲11.7	▲17.6	▲20.6	▲17.6	▲21.2	▲9.7
飲食業	▲50.0	▲37.5	▲42.9	▲33.4	▲46.6	▲41.2	▲22.2	▲21.4	▲11.8	▲26.6	▲38.9	▲25.0	▲10.0
サービス業	▲15.9	0.0	2.3	▲17.8	▲17.8	▲14.0	▲2.2	▲14.0	▲7.5	▲2.3	4.9	▲25.0	▲4.3

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成29年10月～平成29年12月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.04ポイント減少し6.67%、「下降しそう」が3.27ポイント減少し6.00%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(▲5.3)、卸売業(▲8.3)、小売業(▲3.2)、飲食業(0.0)、サービス業(8.5)であった。

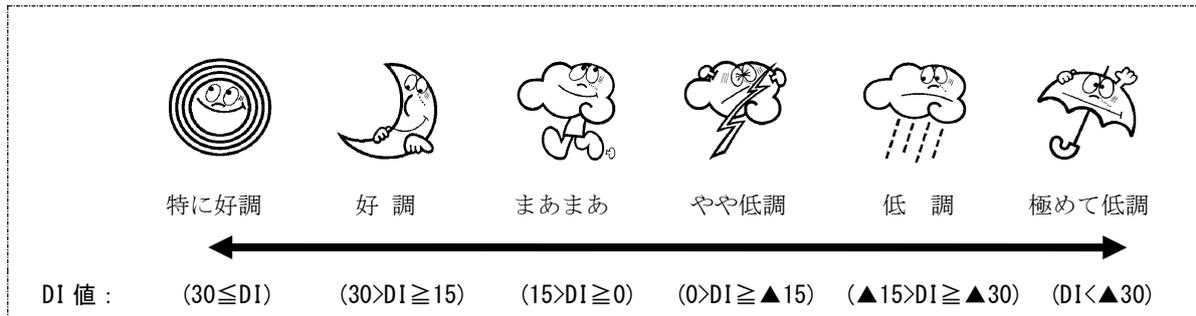
➡「上昇しそう」では、「今月が悪かったので来月以降改善していきたいため」「上半期の業績が予想外に悪く、下半期に期待せざるを得ないため」「首都圏の大型物件が動き始めたため」(建設業)、「新商品導入のため」「お客様の集中的な来客が期待できるため」(小売業)、「イオンモール松本店開店による売上増加が見込めるため」(飲食業)、「センター試験を含む大学受験用の写真需要が伸びそうのため」「秋の観光シーズン、婚礼シーズンに伴い上昇が見込まれるため」「冬シーズンが始まり工賃の上昇が見込まれるため」「納品済み案件について回収があり、新規の引き合いもあるため」(サービス業)といった声が寄せられた。



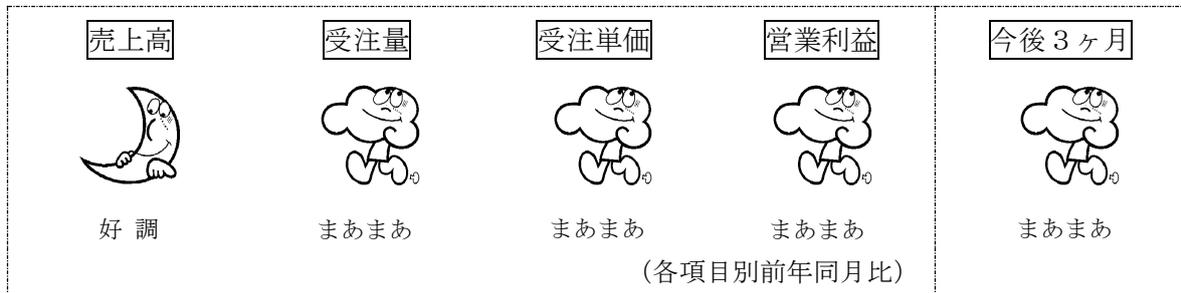
➡「下降しそう」では、「11月以降の受注が少ないため」「公共事業の発注が減少するため」(建設業)、「受注増加に繋がる要因が見当たらないため」(製造業)、「半導体の売上が安定しないため」「地場工務店の受注が低迷しているため」(卸売業)、「イオンモール松本店が開店したため」「販売単価が下がってきているため」「イオンモール開店の影響ができてそうのため」(小売業)、「観光シーズンが終わるため」(飲食業)、「職業訓練受講者募集の定員割れが続いているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 9.6	▲ 21.7	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1	▲ 28.0	▲ 14.3	0.0	8.7	23.8
受注量	▲ 4.7	▲ 13.1	▲ 20.8	▲ 39.1	▲ 30.0	▲ 18.2	▲ 5.2	▲ 38.1	▲ 40.0	▲ 33.4	0.0	▲ 8.7	9.6
受注単価	▲ 23.8	▲ 26.1	▲ 16.6	▲ 21.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 4.8	▲ 12.0	▲ 4.8	4.8	0.0	4.7
営業利益	▲ 23.8	▲ 21.7	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 4.7	▲ 21.8	4.7
見 通 し	9.5	▲ 8.7	▲ 4.1	▲ 4.4	0.0	4.6	10.5	0.0	16.0	9.5	14.2	4.4	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

鉄工

- ・いよいよ当社にも東京オリンピック絡みの物件の引き合いがあり、この先繁忙を極めそう。地元の顧客に対しても失礼のないように、また人材確保と育成についても慎重に対処していきたい。

土木工事

- ・人材不足に加え、納期に対する問題。全体的な需要量が増えてきている中、納期対策をどう乗り越えていくかが今後の課題である。

電気工事

- ・上半期に出遅れていた公共事業、発注も10月以後後半に集中的に発注されるだろうと期待している。

管工事

- ・案件が無いときは全くないが、ある時は全てまとまったタイミングに集中して対応しきれないという悪循環が起こっている。

- ・仕事が少ないせいかこれといった業界の動きはないと感じる。年末に向け不安が多いが何とかやりくりしていくしかない状態が続いている。

- ・売上はあまり変わらなかった。

2. 製造業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヶ月
				
まあまあ	好調	やや低調	まあまあ	やや低調

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 31.8	8.7	5.2
受注量	▲ 39.1	▲ 26.1	▲ 13.7	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 4.5	▲ 15.0	4.2	▲ 18.2	0.0	▲ 27.3	4.3	15.8
受注単価	▲ 26.1	▲ 17.4	▲ 27.3	▲ 10.0	▲ 18.2	0.0	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 27.3	▲ 4.4	▲ 10.5
営業利益	▲ 30.5	▲ 30.5	▲ 22.7	▲ 10.0	0.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 36.4	▲ 8.7	5.2
見通し	▲ 8.7	4.4	0.0	▲ 5.0	0.0	9.1	▲ 20.0	▲ 4.2	▲ 4.5	▲ 4.7	▲ 4.5	0.0	▲ 5.3

<経営者の目・見方・e t c>

菓子	・残暑が長引かなかつたため、秋物のお菓子の動きが思ったより良かった。今後に期待したい。
印刷	・9月～10月は特に動きなし。
金属塗装	・受注が少なく今後が不安である。

3. 卸売業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
まあまあ	まあまあ	やや低調	低調	やや低調

(各項目別前年同月比)

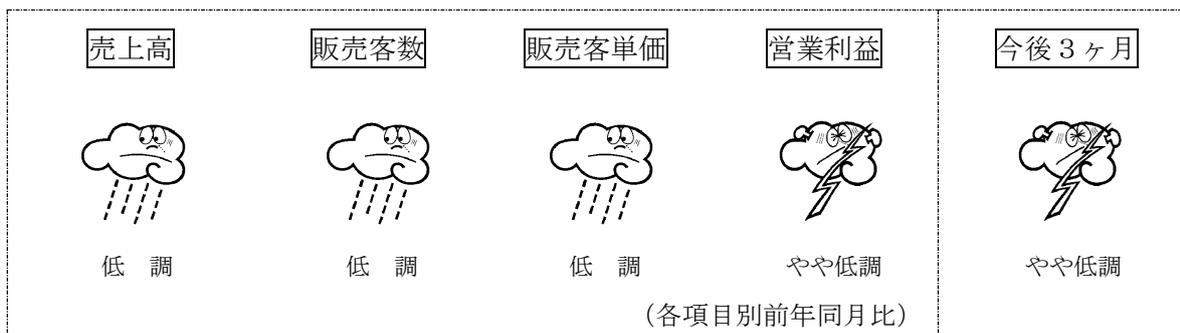
【項目別DIの推移】

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 15.4	▲ 23.1	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0	20.0	0.0
販売客数	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.2	0.0	▲ 20.0	6.6	6.7	0.0
販売客単価	▲ 7.7	0.0	6.3	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 14.3	0.0	▲ 26.6	0.0	6.7	▲ 8.4
営業利益	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6	13.4	▲ 16.7
見通し	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 6.3	0.0	0.0	8.3	7.1	8.3	▲ 6.7	▲ 13.3	6.7	▲ 8.3

<経営者の目・見方・e t c>

土産品	・業界全体では上昇傾向に感じる。地域差もあるが秋の行楽シーズンに期待したい。
金属製品	・先月同様首都圏ではオリンピック関連の大型案件が続いている。ここに来て鉄相場が上昇し始めた。
機械工具	・半導体の売上に引っ張られているが、売上が安定しないため先行きは不透明である。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 29.4	▲ 8.6	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 15.2	▲ 16.1
販売客数	▲ 29.4	▲ 5.7	▲ 23.3	0.0	3.1	▲ 41.2	▲ 8.3	▲ 3.0	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 17.6	▲ 9.1	▲ 16.1
販売客単価	▲ 23.6	▲ 22.9	▲ 20.0	6.4	▲ 12.1	▲ 32.3	0.0	▲ 11.7	▲ 5.9	▲ 20.6	▲ 23.5	▲ 24.3	▲ 19.3
営業利益	▲ 29.4	▲ 14.3	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6	▲ 21.2	▲ 9.7
見通し	▲ 5.9	0.0	0.0	0.0	▲ 3.0	2.9	▲ 8.3	2.9	0.0	▲ 8.8	▲ 5.9	▲ 9.1	▲ 3.2

<経営者の目・見方・e t c>

印章

・イオンモール松本店開店に伴う交通渋滞は予想以上だったが、徒歩で駅前方面に向かう人の数も想像以上に多かった。印章業界の展示会に併設された「銀行印がなくなるかもしれない」という内容の講演会への参加者がとても少なく、同業者の危機感が薄いと感じた。

書籍・木のおもちゃ

・当月は絵本作家を招いての講演会などで販売を伸ばしたものの、相変わらず厳しい状態が続いている。

住宅機器

・下半期は上半期より忙しくなりそうである。

ショッピングセンター

・イオンモール松本店が開店したことで来街者が増えたように感じる。今後は当店の独自性をより強め、マーケットにアピールしていきたい。

陶磁器

・昨年は8月後半から天候不順が続き、過去に例を見ないくらいの業況だったので今年は売上・客数共に前年を大幅に上回った。しかし過去5年で見ると平均以下だった。アリオ松本店の閉店もイオンモール松本店の開店もほとんど影響を感じないが、これからじわじわ感じてくるかもしれない。

おやき

・天候が不安定で、イオンモール松本店の開店もあり客足が鈍かった。

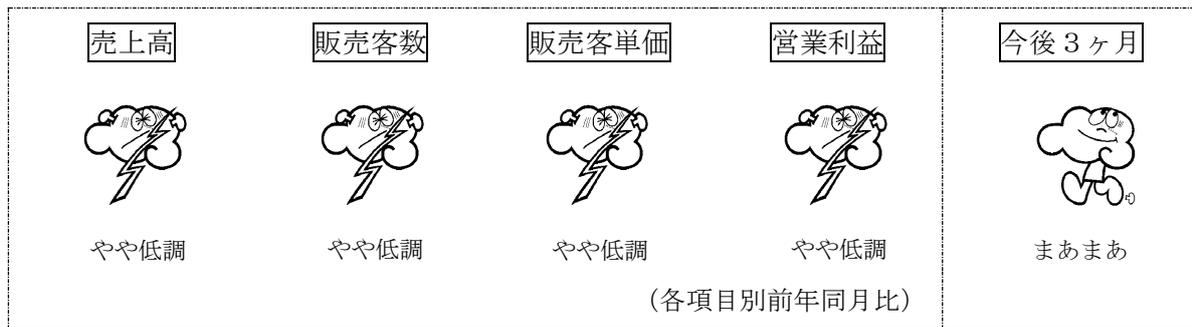
菓子

・イオンモール松本店が開店して様々な不安材料があったが影響は少なかった。しかし集客力は抜群の大型店なのでこれから食品スーパー、市街地の飲食店は大変な時代を迎えそうである。

婦人服

・イオンモール松本店の開店で売上の減少が予想されたが前年同月と比べほぼ横ばいであった。急な寒さもあって月末に在庫不足になってしまったので、来年の仕入は考えていきたい。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 43.7	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 44.4	0.0	▲ 15.0
販売客数	▲ 31.2	▲ 12.5	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 11.1	▲ 14.3	▲ 5.9	▲ 33.3	▲ 38.9	▲ 12.5	▲ 10.0
販売客単価	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.8	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 35.3	5.6	▲ 14.3	▲ 11.7	▲ 26.7	▲ 33.3	6.3	▲ 15.0
営業利益	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 38.9	▲ 25.0	▲ 10.0
見通し	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	▲ 26.7	0.0	▲ 11.7	16.7	14.3	0.0	6.7	▲ 5.6	▲ 6.2	0.0

<経営者の目・見方・etc>

寿司

- ・イオンモール松本店の開店に伴う渋滞や消費者動向への影響が懸念されたが、消費者動向については今のところ目立ったマイナスの影響は感じていない。秋の観光シーズンを迎える中、先手先手の販促を仕掛けていきたい。

そば

- ・いよいよイオンモール松本店が開店した。開店時の人気は想像以上であり、それと同時に心配されていた交通渋滞も予想をはるかに超えていた。国体道路の渋滞はひどいもので普段5分程度で通過できる道が土曜日、日曜日は40分～50分もかかってしまう程だった。これから先も注視していきたい。

郷土料理

- ・イオンモール松本店の開店による影響が心配される。

料理

- ・観光シーズンが続き客の出入りも多く心強いが、収益が前年より増加していない現状。一部の企業は景気上向きと報じられているが中小企業ではまだまだ遠い話のように思う。

喫茶

- ・松茸、雑茸、サンマなど天候不順による不作や不漁で今までとは異なる自然環境が来ていると感じる。

食堂

- ・旧井上跡地に計画している大手門駐車場の駐車台数が発表されたが将来の観光客の需要、世界遺産の取り組み等が配慮された計画とはいえず残念。開場を来秋に予定されているようであるが、期日を延長しても駐車台数を増やす努力を行政に求めたい。

- ・例年に比べ、宴会やお酒を飲むお客様が少なかった。食事のお客様は例年並みだった。

- ・イオンモール松本店が16日にプレオープン、21日にグランドオープンした。人通りが多くなったため、昼食のお客様が増加し、土日・祝日に家族連れが多くなったことで、売上が増加している。

6. サービス業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
やや低調	まあまあ	やや低調	やや低調	まあまあ

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	▲ 25.0	5.0	6.8	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9	▲ 4.6	▲ 5.0	0.0	2.4	▲ 22.0	▲ 4.2
販売客数	▲ 22.7	0.0	4.6	▲ 11.1	▲ 17.7	▲ 14.0	4.4	0.0	▲ 7.5	▲ 2.3	▲ 2.5	▲ 24.4	0.0
販売客単価	0.0	▲ 2.5	6.8	▲ 2.2	▲ 4.4	▲ 7.0	0.0	2.3	0.0	9.1	0.0	7.4	▲ 4.2
営業利益	▲ 15.9	0.0	2.3	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 14.0	▲ 7.5	▲ 2.3	4.9	▲ 24.4	▲ 4.3
見通し	9.1	10.0	4.5	2.2	8.9	0.0	6.6	7.0	▲ 5.0	4.5	0.0	▲ 4.9	8.5

<経営者の目・見方・e t c>

不動産賃貸

・イオンモール松本店のテナント従業員用の紹介が2件ほどあり、月極駐車場探しに苦慮している様子である。

獣医

・イオンモール松本店が開店した。その施設の中にも動物関連のブースが設置され動物グッズ、生体販売、トリミングなどが入っている。夏以降、松本、塩尻市内のショップでの子犬、子猫の売上が増え病院ではワクチンの接種が伸びている。

ペットサービス

・来客数、売上共に前年を下回った。

温泉旅館

・降雨量も少なく、連日観光日和であった。宿泊者も多かった。

ホテル

・特に平日の宿泊予約について非常に動きが良かった。要因としてイオンモール松本店開店準備に伴う宿泊需要が駅前を中心にあつたと考えられる。

・イオンモール松本店の開店に伴い、宿泊は好調であった。宴会売上もまずまずであった。

旅館

・8月は天候がはっきりせず客足も伸び悩んだが、9月は概ね順調の様だった。

リラクゼーション

・一時的にイオンモール松本店への人の流れは多かったように思う。

タクシー

・プロ野球公式戦が松本市野球場で行われたこともあり、客数、売上高は前年を僅かに上回った。オート燃料価格はガソリン、LPガス共に前月に続いて値上がりの状態である。

倉庫

・新規顧客等に変動はなかった。

機械設計

・地元企業も設備投資はしているので仕事量が多い。しかし材料が仕入れられない状況が続いている。

ソフトウェア

・県内中小企業のお客様も、情報部門への投資が活発になっている。関連企業とのバリューチェーン構築にクラウド化も検討される場合も多いが、月額コストも考慮する必要がある、※OSSの利用などを前提に低コストで効果的なシステムの提案を行っていききたい。 ※OSSとは・・・著作権保持者がどんな目的のためでもソフトウェアを、学習、変更、そして配布するための権利を提供するというライセンスに基づいたソフトウェアである。